

基本的なパターン

掛図にマグネット付パートをはっていきます。

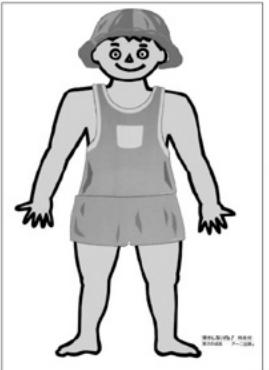


1.導入

できれば「女子の成長」「男子の成長」を併用して、どちらが女子か男子か?どこをぬげぬわかるかな?などと問い合わせ自由に発言させれば、リラックスした導入にすることができます。

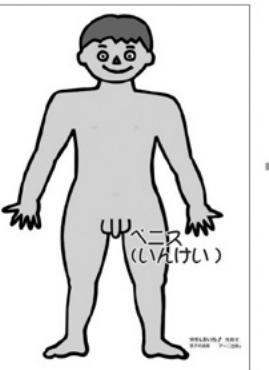
その場合、「赤い帽子をかぶっているから女子!」と答える児童がいたら、女子は赤やピンク、男子は青い服といった固定観念で問題であることを教え、他にも、「女らしく」「男らしく」のような固定観念はないかなどを考え方で、男女平等の視点にたった性教育をすめるための工夫が必要です。

※このセットには、文字フレートはついていません。板書などするといいでしょう。



2.はだかになると…

男子の性器、ペニス(いんけい)、精巣(こうむ)など、正しい名称をおぼえさせる。(内性器の名称はこのパンフレット4頁にあります)



3.下垂体という目覚まし時計が鳴ると…

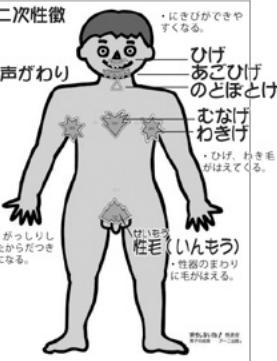
12~13歳になると、大脑の下垂体前葉から性腺刺激ホルモン(性ホルモン)の分泌を誘発するホルモン)が出てこころうに働きかける。すると、こうれからは男性ホルモンが分泌され血液にまじってからだ中にゆきわたる。そして、二次性徵があらわれる。



4.二次性徵

からだはどんなふうにわかるのかな?マグネットのひげ、のどぼとけ、性毛などの各部品を児童たちに配り掛け図にはらせる。全員参加の楽しい授業が展開される。

ひげ、あごひげ、のどぼとけ(声があり)、むな毛、性毛がはえ、がっしりした体つきになる。

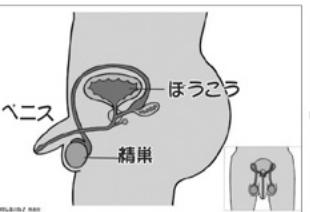


- 二次性徵はあからやんがうまれたとき、その性器で男の子か女の子かをみわけるが、それが一次性徵。思春期になって性的特徴の差異がはっきりあらわれるのを二次性徵という。

1.男子の性器

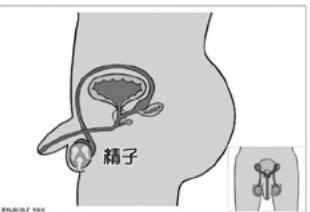


おなかの中にも性器あります。横から見た絵です。右下は正面から見たところ。
こうれ(精巣)、副こうれ(精巣上体)、精管、尿道、ペニス(いんけい)など各器官の名称をおぼえさせよう。



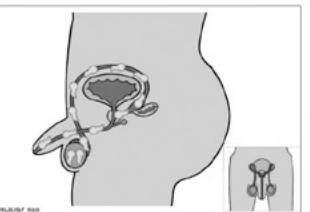
2.産生される精子／精子ってなーんだ?

こうれの中では、1日に7000万~1億もの精子がつくられるようになる。(こうれに精子をはる)



3.精子は、グルグルーってまわって

こうれでつくられた精子は、副こうれで成熟しグルグルっと精管をまわってペニスからとび出していく。ちゅうう、精のう、前立腺、クーパー腺などから、精子に栄養を与える。精子の運動を促進させるなどのさまざまな役割りももった液が出来、まああわされて精液となる。



4.ほつき／射精／精通

精液がこうからとてはじめていくことを射精といい、はじめての射精を精通という。射精が起こるときはペニスが固くなれて立つが、これをぼつきという。眠っている間に性的な夢を見て射精することもあるが、これを夢精といいう。たまたま精子を自分で放出させるマスターーションもこの時期から始まるが、誰でも経験することでの心配はない。

